# 大学国際戦略本部強化事業について

独立行政法人日本学術振興会 大学国際化支援本部 調査研究アドバイザー

一橋大学商学研究科専任講師

太田浩



### はじめに

- 1. グローバル化と高等教育の課題
- 2. 問題認識·背景
- 3. 日本の大学の国際化(戦略性)
- 4. 大学の国際化推進関連プログラム(文科省)
- 5. 大学国際戦略本部強化事業
- 6. 好事例分析の観点
- 7. 公開シンポジウム
- 8. 中間評価
- 9. 期待と課題

# 1. グローバル化と高等教育の課題

- 世界中の大学を結ぶ巨大なネットワークの構築
- 国際的な大学間の教育研究における競争と協働 (協力)
- グローバル・スタンダード化(英語)
- グローバルな留学生教育市場の成長と産業化(貿易・WTO問題)
- 世界の高等教育における米国の優位性
- 大学トップの戦略がよりグローバル化
- ダイレクトな「地方と世界」の関係

#### 高等教育を取り巻く環境とその課題

「国際化」は、日本と日本の大学にとって喫緊の課題

#### 高等教育を取り巻く環境の変化

産業型社会から知識型社会への移行

国際化、グローバル化、マクドナルド化

高等教育の大衆化、産業化、多様化、高度化、学生消費者主義

ITの進化:遠隔/広域教育需要の高まり

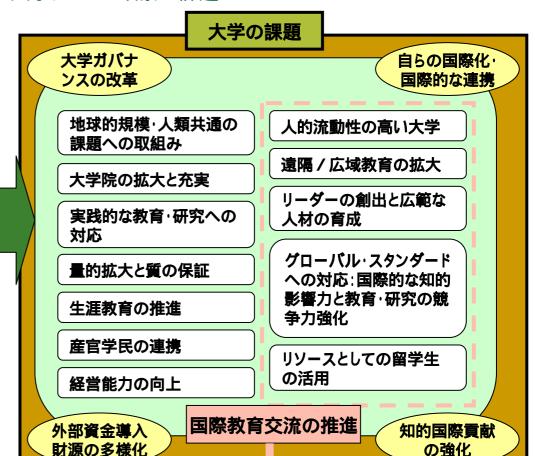
国際的な大学間競争激化、人材獲得競争

財政の逼迫:財源・リソースの有効活用

成果主義、アカウンタビィリティの高まり

途上国に対する高等教育の貢献

個の尊重とネットワーク化



途上国の人材育成に貢献 途上国との人的ネットワーク強化 世界的レベルの研究拠点形成

域内連携の強化(東アジア、環太平洋)

ITを有効活用した国際教育プログラムの開発

先進国との高度な知的交流の促進

国際的な大学間のコンソーシアム、アライアンスの展開

国際的なマインドと競争力(Transnational Competence)備えた人材の育成

海外分校・拠点の設置

ポスト留学生受入れ10万人計画:新たなる国際教育交流のパラダイム創出

量から質への受入れ 受入れ中心から相互交流へ(日本人の派遣促進) 国際化に対応した職員の専門性向上(専門職化) 留学生市場への能動的な取組み マーケティング力強化 リソースとしての留学生の活用 帰国後の永続的な連携、高度人材として国内で確保

World University Rankings The Times Higher Education Supplement 2006								ement 2006
06		Overall Score	Peer review (40%)	Recruiter review (10%)	Int'l faculty (5%)	Int'l students (5%)	Faculty/ student (20%)	Citations/ faculty (20%)
1 (1)	Harvard	100.0	93	100	15	25	56	55
2	Cambridge	96.8	100	79	58	43	64	17
3	Oxford	92.7	97	76	54	39	61	15
<b>4</b> (2)	M.I.T.	89.2	81	93	11	39	42	54
<b>4</b> (7)	Yale	89.2	72	81	45	26	93	24
<b>6</b> (5)	Stanford	85.4	82	85	9	34	32	55
7	Cal. Tech.	83.8	53	21	24	40	67	100
8 (6)	UC, Berkeley	80.4	92	75	6	13	22	39
<b>9</b> (13)	Imperial College	78.6	65	44	55	56	88	12
10	Princeton	74.2	68	61	21	29	53	34
19 (16)	<u>Tokyo</u>	63.1	72	29	<u>8</u>	<u>10</u>	35	27
29 (31)	<u>Kyoto</u>	56.0	61	20	<u>15</u>	<u>7</u>	44	18

## 2. 問題認識·背景

# その1 第2期科学技術基本計画

科学技術活動の国際化の推進 「国際的にも開かれ国内外の優秀な研究 者が集まる世界水準の研究環境の構築」

#### 現状

我が国の大学における外国人教員の割合 3.5% 研究者総数に対する外国人研究者数の割合 1.5%

# 2. 問題認識·背景

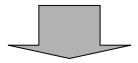
# その2 大学改革

- ・「知」をめぐる世界大競争の時代
- ・特色ある個性輝く大学づくり
- ・国立大学法人化

## 2. 問題認識·背景

### <u>その3</u> 大学等の国際活動は、研究者個人の 活動に依存

- ·外国人研究者の受入れ諸業務を受入れ研究者が負担 例) 入国手続、宿舎探し 等
- ·組織的·戦略的取組みに至らない国際活動 例)協定の形骸化 等
- ・大学における外国人教員の割合の少なさ:3.5%
- ・事務職員の語学力や国際活動マネジメント養成不足



#### 「科学技術・学術分野における国際活動の戦略的推進について」

(平成17年1月 科学技術·学術審議会国際化推進委員会報告)

・国際活動基盤の強化

"大学における特色ある組織的な国際活動に向けた 取組みの推進"

## ▶ 3. 日本の大学の国際化(戦略性)

- □ 世界レベルの研究を推進、国際競争力の強化
- □ 高等教育の国際的通用性・共通性の向上
- □ 国際社会で活躍できる人材の養成(異文化理解)
- □国際協力・貢献を推進
- □ 外国人留学生受入れの拡大(人材の獲得)と多様化
- □ 海外留学・短期海外(語学等)研修・インターンシップの拡大と多様化
- □ 大学が地域社会の国際化を促進
- □ 海外拠点、オフショア・プログラムの設置
- □ 国際的な大学間のコンソーシアムやアライアンスに参加
- □ 複数・共同(double, dual, joint)学位プログラムの開発
- □ 地域を特化した交流
- □外国人教員、研究員の積極的採用

## 4.大学の国際化推進関連プログラム(文科省)

- □ 大学国際戦略本部強化事業
- □ 大学教育の国際化推進プログラム(長期海外留学支援、海外先進教育研究実践支援、戦略的国際連携支援)
- □ 先導的留学生交流プログラム支援制度
- □「魅力ある大学院教育」イニシアチブ(大学院GP)
- □ 現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)
- □ 特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)
- 21世紀COEプログラム
- □ 短期留学推進制度
- □ 海外留学生のための奨学金(貸与型)

### 大学の教育研究の国際展開の推進、国際競争力の強化

·特別研究経費

- ·戦略的国際連携支援
- ·教育イニシアチブ 等

### 教育

- ・海外の大学等との 共同教育プログラム
- ·優秀な外国人留学生の 獲得
- ・日本人学生の海外留学

### 研究

- ·国際共同研究
- ·研究者交流
- ·優秀な外国人研究者、 教員の獲得等
- ·JSPS事業
- ·科研費
- ·21世紀COE 等

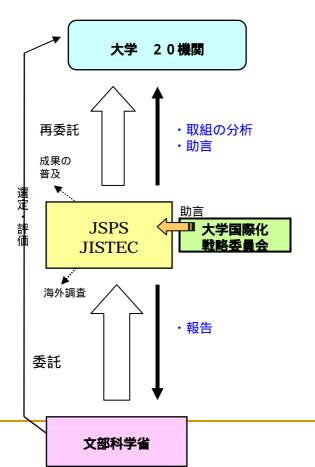
### 学長の下、全学横断的な組織体制を整備し、全学的な国際活動を推進

- (例)・「国際戦略本部」の設置、企画・実施体制の強化
  - ·外国人研究者·留学生等の研究教育·生活環境面での組織的な支援体制 強化
  - ・国際展開に対応する大学教員・職員の養成・確保
  - ・情報の収集・発信、ネットワーク構築等

### 国際戦略本部

## 5. 大学国際戦略本部強化事業

- ·平成17年度 文部科学省 新規事業(予算額5億円)
- ·日本学術振興会(JSPS)及び社団法人科学技術国際交流センター(JISTEC)が 共同受託
- ・選定された大学へJSPS / JISTECが再委託(1校あたり年間1~4千万円程度)
- ·平成17年度~平成21年度 5年間



#### 【選定大学(20機関)】

・「国際戦略本部」機能の強化に よる全学的な国際活動を推進

#### [JSPS / JISTEC]

- ・大学国際化戦略のモデルを開発 (取組の分析、好事例の抽出)
- ・選定大学の取組への助言
- ・成果の普及

#### 【大学国際化戦略委員会】

・事業全般についての助言

#### 【文部科学省】

- ·審査選考
- ·中間評価、事後評価

### 大学国際戦略本部強化事業 採択大学等一覧

### 申請 68 件 採択 20 件

整理番号	区分	大学等名	構想組織名
1	国立	北海道大学	「持続可能な開発」戦略本部
2	国立	東北大学	グローバルオペレーションセンター
3	国立	東京大学	東京大学国際連携本部
4	国立	東京外国語大学	国際戦略本部
5	国立	東京工業大学	東京工業大学国際戦略本部
6	国立	一橋大学	国際戦場企画部会 (国際戦場本部へ改組)
7	国立	新潟大学	国際学術サポートオフィス
8	国立	名古屋大学	国際交流協力推進本部
9	国立	京都大学	京都大学国際交流推進機構
10	国立	大阪大学	国際交流推進本部

整理番号	区分	大学等名	構想組織名		
11	国立	神戸大学	国際交流推進本部		
12	国立	鳥取大学	国際業婦企画推進本部		
13	国立	広島大学	国際樂場本部		
14	国立	九州大学	国際交流推進機構		
15	国立	長崎大学	長崎大学国際連携研究戦略本部		
16	公立	会津大学	コンピュータ理工学基盤研究国際戦略本部		
17	私立	慶應義塾大学	国際連携推進機構		
18	私立	東海大学 九州東海大学 北海道東海大学	国際単地各本部		
19	私立	早稲田大学	国際研究推進本部		
20	大学 共同 利用	自然科学研究機構	国際戦略本部・国際連携室		

- (1)組織体制、ガバナンス
- (2)目標設定、行動計画、評価体制
- (3)国際的な外部資金の獲得
- (4)国際的なコンソーシアムの形成又は参加
- (5)職員の養成・確保
- (6)外国人研究者等の受入環境の改善
- (7)日本人学生、研究者の海外留学・派遣機会の充実
- (8)個別の研究テーマを中核とした国際展開
- (9)海外拠点の整備

- (1)組織体制、ガバナンス 企画部門と実施部門の連携 本部と部局の分担 教員と職員の一体化(協働) 複数のキャンパス、支部等の連携 ・留学生センター改組
- (2)目標設定、行動計画、評価体制現状・問題点の把握・分析 マスタープランアクションプラン 評価

- (3)国際的な外部資金の獲得 戦略として国際的外部資金を獲得 国際活動の充実 国際水準の事務体制の強化 JICA、JBIC等の国際協力事業の応札、受諾
- (4)国際的なコンソーシアムの形成・参加独自にネットワークを形成 国際活動の基盤づくり 国際水準の事務体制の強化

- (5)国際関係業務担当職員の養成·確保 専門性·総合性の両面が必要
  - ·研修制度、留学制度
  - ・処遇、キャリアパス
  - ・外部人材の登用
- (6)外国人研究者等の受入環境の改善 ワンストップサービス、情報提供等 宿舎(借り上げ、地方自治体との連携) キャンパスの国際化(内なる国際化)
  - ・カリキュラムの国際的通用性共通性(留学生)

- (7)日本人学生、研究者の海外留学·派遣機会 の充実
  - ・受入 > 派遣(送出し)の是正(数値目標)
  - ・海外留学プログラムの多様化
  - ・海外拠点の有効活用
- (8)個別の研究テーマを中核とした展開
  - ·強い分野に集中投資 ノウハウを水平展開

- (9)海外拠点の整備 大学の国際活動の有機的連携のハブ
  - ・機能の明確化
  - ·学生·研究者の派遣、職員の研修等への有効活用
  - ・留学生募集の拠点
  - ・オフショア・プログラムの展開
  - ・複数・共同学位プログラムの運営
  - ・共同研究プロジェクトの運営
- (10)その他:危機管理、元/帰国留学生の組織化

# 7. 公開シンポジウム

- 大学の国際戦略 ~ 「海外拠点」と「職員養成」~
- 日時:11月15日(水) 午後
- 場所: 政策研究大学院大学内 想海楼ホール
- 海外の事例発表: Nuffic(オランダ)のアジア展開(拠点)
- 採択校の事例発表
  - □ 海外拠点:長崎大学、日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター
  - □職員養成∶東京大学、神戸大学

# 8. 中間評価(文部科学省)

- 機能体制の整備状況(国際戦略と戦略本部)
- 計画の達成度(事業計画の進捗)
- 事業効果の大きさ
  - □ 本事業の実施によるインパクト
  - □ 国際活動を担当する人材の確保・育成
  - □研究環境の国際化
  - □共同研究の展開と成果
  - □ 持続的な枠組みの構築
- その他:他大学からの参照可能性、課題の抽出

# 9. 期待と課題

- パイロット・プロジェクトとして、好事例の抽出と波及 効果
- 教育の国際化への取組み: 教授会の壁?
  - □ カリキュラム、教員の国際的通用性共通性を高める
  - □ 財政的に自立(貢献できる)国際教育プログラム
  - □ 内外のコンソーシアムの活用:プログラムの相互乗入れ
  - 国際教育プログラムの多様化とMobilityの向上:日本+ 東アジア(海外拠点)
  - □ 海外留学プログラムの量的拡大が急務

# 9. 期待と課題

- 学長・経営トップのリーダーシップ・イニシアチブの 発揮(機動性)
- 国際関係業務のエキスパート: プログラム・ディレクター(制)の採用・養成、SD、職員の専門性・マネージメント能力の向上、キャリアパスの確立
- 大学院生の積極的活用(人的資源の有効活用)
- 外国人教職員の採用と外国人研究員の受入拡大
- 内なる国際化の推進と国際化をメインストリームへ
- 世界的な大学評価に堪えうる(挑む)大学

## 大学国際戦略本部強化事業 ホームページ



http://www.u-kokusen.jp/